YAMAHA

ユーザーガイド

サウンドバー

B200A

JA

目次

はじめにお読みください 5

本製品の特長 5
ユーザーガイドと同梱ガイドについて 8
本ガイドの記載内容に関するお知らせ 8

各部の名称と機能 10

サウンドバーの各部名称(前面/上面) 10
サウンドバーの各部名称(背面) 12
リモコンの各部名称 13

ご使用の準備 15

準備の流れ 15
同梱品を確認する 16
本製品を設置する 18
テレビと電源に接続する 19
ARC対応テレビと接続する 19
ARC非対応のテレビと接続する 21
オーディオ機器と電源に接続する 23
リモコンを準備する 26
電源をオンにする 27

再生 28

再生時の基本操作 28

お好みの音に調整する 30
本製品のサラウンド機能について 30
サラウンドで再生する 32
ステレオで再生する 33
サブウーファーの音量を調節する 34
人の声を大きくして再生する(クリアボイス) 35
豊かな低音を楽しむ(バスエクステンション) 36
音域ごとに音量を調節する(トーンコントロール) 37
Bluetooth®機器の音楽を聴く 38

テレビと連携 41
テレビのリモコンで操作する(HDMIコントロール機能) 41

アプリで操作 42
スマートフォンアプリで操作する(Sound Bar Remote) 42

設定変更と初期化 43
サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する 43
ランプの明るさを変更する(ディマー) 44
二ヶ国語放送の音声を切り替える 45
HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える 46
自動スタンバイ機能のオン/オフを切り替える 47
チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える 48
Bluetoothスタンバイ機能のオン/オフを切り替える 49
Bluetooth機能のオン/オフを切り替える 50
設定を初期化する 51

よくあるご質問 52
困ったときに最初に確認すること 52
電源と動作全般について 53
音声再生について 61
Bluetooth接続について 66

アプリ使用について 68
その他のよくあるご質問 70
ブルーレイディスクプレーヤーなどのAV機器を接続したい 70
待機時消費電力を最小にしたい 71
リモコンの電池を交換したい 72
サウンドバーをリセットしたい 73

仕様とサポート 74
主な仕様 74
対応しているデジタル音声信号フォーマット 76
主なランプ表示一覧 77
サポート窓口一覧 79

ソフトウェアと商標 80
サードパーティー製ソフトウェアプログラムについて 80

はじめにお読みください

本製品の特長

本製品はご家庭のテレビで手軽に臨場感豊かなサラウンドサウンドをお楽しみいただくためのテレビ用バー型スピーカーです。

■ テレビに接続するだけでサラウンドサウンドを実現



関連リンク

「サラウンドで再生する」(32ページ)

■ Bluetooth機器の音声を簡単再生



関連リンク

「Bluetooth®機器の音楽を聴く」(38ページ)

■ シチュエーションに合わせたサウンドを実現

クリアボイス

全体の音量やサウンドの個性を変えることなく、再生音の中からセリフやナレーションなどの人の声の音像にフォーカスして強調する機能です。人の声だけが聴きやすくなり、人の声の明瞭な定位感も得られます。

- 「人の声を大きくして再生する(クリアボイス)」(35ページ)

バスエクステンション

低音部の音像にフォーカスして増強する機能です。全体のサウンドのバランスを崩すことなく、低音部の音像全体が明確になるように調整されるため、存在感のある豊かな低音を楽しめます。

- 「豊かな低音を楽しむ(バスエクステンション)」(36ページ)

トーンコントロール(アプリのみ)

高音域、低音域の音量をそれぞれ調節する機能です。お好みのバランスでサウンドを楽しめます。

- 「音域ごとに音量を調節する(トーンコントロール)」(37ページ)

■ さまざまな利用シーンに対応した複数の操作方法

サウンドバー本体の操作部、付属のリモコンに加えて、テレビのリモコン、専用のスマートフォンアプリ「Sound Bar Remote」でもサウンドバーを操作できます。

HDMIコントロール機能、オーディオリターンチャンネル(ARC)

付属のHDMIケーブル1本で、サウンドバーをHDMIコントロール機能/オーディオリターンチャンネル(ARC)対応のテレビに接続できます。HDMIコントロール機能により、テレビのリモコンでサウンドバーの基本機能を操作できます。また、ARC(オーディオリターンチャンネル)により、テレビのHDMI入力端子からサウンドバーに音声信号が伝送されます。

- 「ARC対応テレビと接続する」(19ページ)
- 「テレビのリモコンで操作する(HDMIコントロール機能)」(41ページ)

専用スマートフォンアプリ「Sound Bar Remote」

お使いのスマートフォンからも、サウンドバーを操作できます。現在のサウンドバーのサウンドモードやサウンド設定、音量などを確認することもできます。

- 「スマートフォンアプリで操作する(Sound Bar Remote)」(42ページ)

ユーザーガイドと同梱ガイドについて

本ガイドの記載内容に関するお知らせ

- 本ガイドでは注意事項などを次のように分類しています。

・ **警告**

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

・ **注意**

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

・**ご注意**

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。

・**お知らせ**

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

- 掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- 記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 各種スマートフォンやタブレット機器を総称して「スマートフォン」と表記しています。必要な場合は、説明文中で機器の種類を特定しています。
- 本ガイドでは、主にリモコンでの操作を説明しています。サウンドバー本体の操作が必要な場合は、その都度説明しています。
- 本ガイドは日本国内仕様の製品について説明しています。

■ 本製品のマニュアルについて

本製品には、ウェブ版のユーザーガイドのほか、次のガイドが同梱されています。

セーフティーガイド

本製品を安全にご使用いただくために必要な情報が掲載されています。ご使用前に必ずお読みください。

クイックガイド

本製品をご購入後、箱を開けてからテレビやBluetoothの音声をお楽しみいただくまでの手順を説明しています。

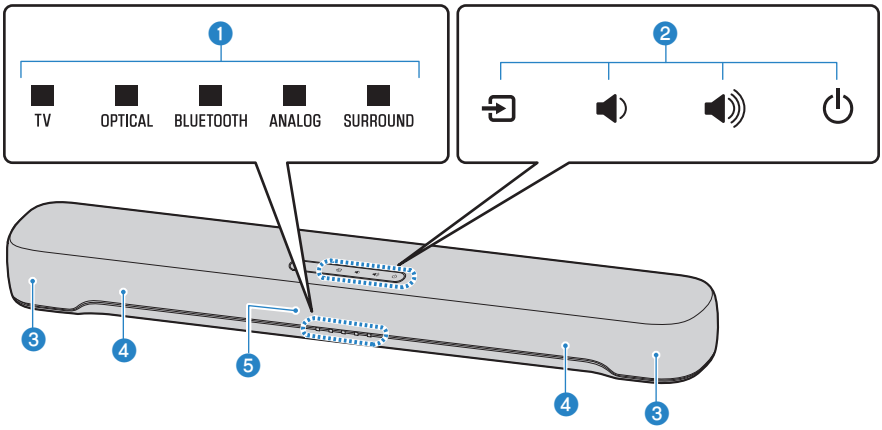
ユーザーガイド(本ガイド)

クイックガイドに記載のない内容も含め、すべての機能や使用手順を説明しています。

各部の名称と機能

サウンドバーの各部名称(前面/上面)

サウンドバーの前面/上面の名称と機能について説明します。



❶ 表示部

ランプが点滅/点灯することで、操作や設定状況を示します。通常の再生中は、次のように設定状況を表示します。

TV/OPTICAL/BLUETOOTH/ANALOG: 選択された再生機器

SURROUND: サラウンド再生中にDolby Atmosの音声信号入力(点灯・緑)/Dolby Atmos以外の音声信号入力(点灯・白)、ステレオ再生(消灯)

お知らせ

本ガイドではランプの消灯/点灯/点滅を次のような図で表わしています。



❷ 操作部

指先でマークに触れて、サウンドバーを操作します。

(入力切換):再生する機器を選びます(28ページ)。

/ (音量+/−):音量を調節します(28ページ)。

(電源):サウンドバーの電源をオン/オフします。

❸ スピーカー

❹ 内蔵サブウーファー

❺ リモコン受光部

お知らせ

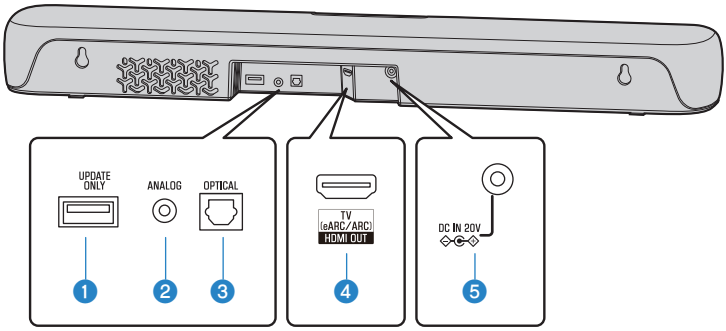
- 意図しない動作を防ぐため、操作部の上にものを置かないでください。
  チャイルドロック機能をオンにすると、誤操作を防止できます。
- ランプの明るさをDIMボタンで調節できます。

関連リンク

- 「チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える」(48ページ)
- 「ランプの明るさを変更する(ディマー)」(44ページ)

サウンドバーの各部名称(背面)

サウンドバーの背面の名称と機能について説明します。



❶ **UPDATE ONLY(アップデート専用)端子**
サウンドバーのファームウェアをアップデートするときに使います。
詳細については、ファームウェアに添付される説明書をご覧ください。

❷ **ANALOG入力端子**(23ページ)

❸ **OPTICAL(光デジタル)入力端子**(23ページ)

❹ **HDMI OUT/TV(eARC/ARC)端子**(19ページ)

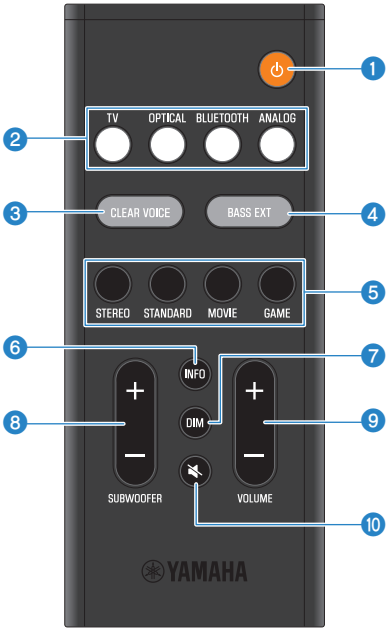
❺ **DC IN 20V端子**

関連リンク

- 「サウンドバーの各部名称(前面/上面)」(10ページ)
- 「リモコンの各部名称」(13ページ)

リモコンの各部名称

リモコンの名称と機能について説明します。



1 ⏻(電源)ボタン

サウンドバーの電源をオン/オフします(27ページ)。

2 入力ボタン

再生する音声ソースを選びます(28ページ)。

- TVボタン：HDMI OUT/TV(eARC/ARC)端子に接続したテレビの音声
- OPTICALボタン：OPTICAL入力端子に接続した機器の音声
- BLUETOOTHボタン：Bluetooth機器の音声
- ANALOGボタン：ANALOG入力端子に接続した機器の音声

3 CLEAR VOICEボタン

クリアボイス機能のオン/オフを切り替えます(35ページ)。

4 BASS EXTボタン

バスエクステンション機能のオン/オフを切り替えます(36ページ)。

❺ サウンドモードボタン

お好みのサウンドモードに切り替えます(30ページ)。

- STEREO
- STANDARD
- MOVIE
- GAME

❻ INFOボタン

- 再生中の音声信号の種類やサウンドバーの設定を表示します(43ページ)。
- ボタンを5秒以上押して、地上デジタル/BS デジタル放送(モノラル多重音声)の主音声/副音声を切り替えます(45ページ)。

❼ DIMボタン

サウンドバーの表示部(ランプ)の明るさを切り替えます(44ページ)。

❽ SUBWOOFER(＋/－)ボタン

サブウーファーの音量を調節します(34ページ)。

❾ VOLUME(＋/－)ボタン

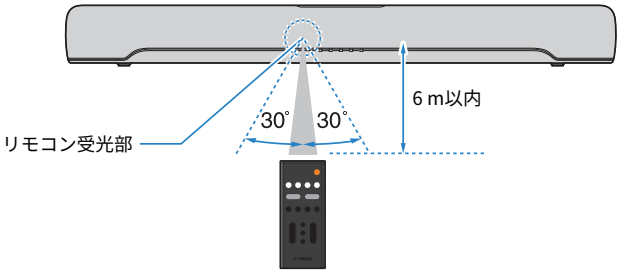
サウンドバーの音量を調節します(28ページ)。

❿ 🔇(消音)ボタン

消音します(28ページ)。もう一度押すか、VOLUME(＋/－)ボタンを押して消音を解除します。

お知らせ

次の範囲内で操作してください。



関連リンク

「サウンドバーの各部名称(前面/上面)」(10ページ)

ご使用の準備

準備の流れ

サウンドバーを設置して、テレビと接続します。

1 **同梱品を確認する。**
「同梱品を確認する」(16ページ)

2 **サウンドバーを設置する。**
「本製品を設置する」(18ページ)

3 **テレビとサウンドバーを接続する。**
接続するテレビが搭載する端子や、お使いになる機能に合わせてサウンドバーを接続してください。
「ARC対応テレビと接続する」(19ページ)
「ARC非対応のテレビと接続する」(21ページ)

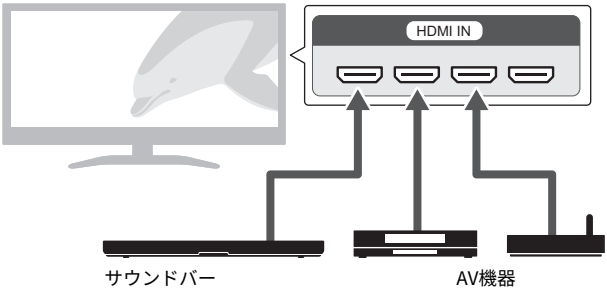
4 **(必要な場合のみ)オーディオ機器を接続する。**
「オーディオ機器と電源に接続する」(23ページ)

5 **リモコンを準備する。**
「リモコンを準備する」(26ページ)

6 **電源をオンにする。**
「電源をオンにする」(27ページ)

お知らせ

- ブルーレイディスクプレーヤーやメディアストリーミング端末などのAV機器は、テレビのHDMI入力端子に接続します。



- テレビやAV機器の音声を出力する場合は、次のように入力を設定してください。
  ・サウンドバーの入力：TV
  ・テレビの入力切換：再生するAV機器

同梱品を確認する

付属品がすべて揃っていることを確認してください。

- サウンドバー(B200A)

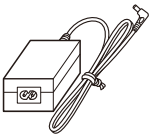


- リモコン(×1)

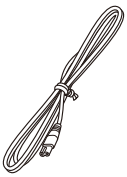


* リチウムコイン電池(CR2025)はセット済みです。

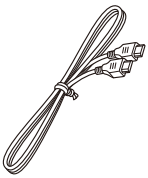
- ACアダプター(型番：K48E200210E2)(×1)



- 電源コード(×1)



- HDMIケーブル(1.5 m)(×1)

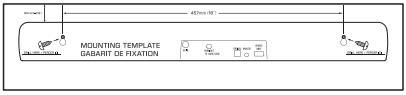


- スペーサー(A：2個、B：2個/1シート)



* サウンドバーを壁に設置するときに使います。

- 取付用テンプレート(×1)



* サウンドバーを壁に設置するときに使います。

- クイックガイド(×1)

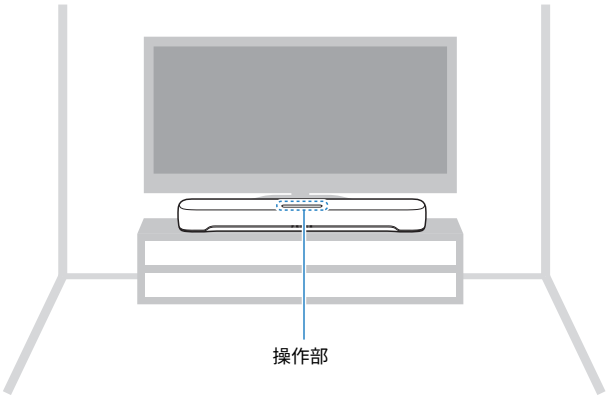


- セーフティーガイド(×1)



本製品を設置する

次の図のように設置します。



お知らせ

本製品を壁に取り付ける場合は、お買い上げの販売店または施工の専門事業者に設置を依頼してください。詳しくは、「壁掛け施工ガイド」をご覧ください。
https://manual.yamaha.com/audio/sound_bar/wallmount/b200a/

テレビと電源に接続する

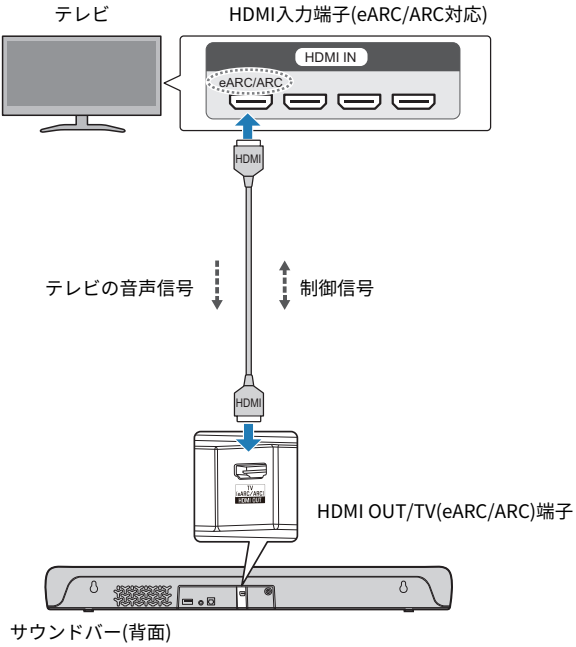
ARC対応テレビと接続する

ARC対応の付属のHDMIケーブルを使って、テレビに接続します。

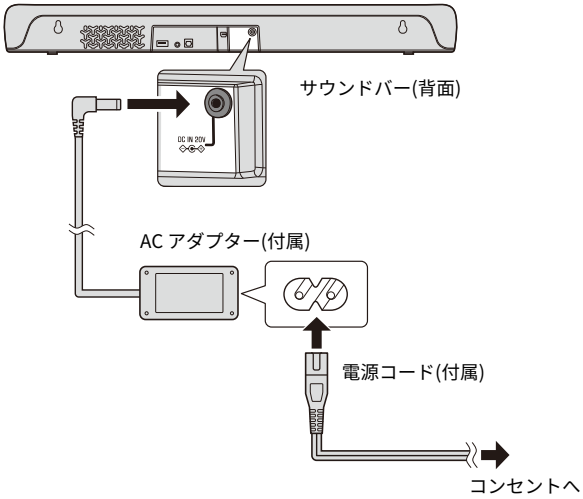
テレビの音声信号と、テレビのリモコンでサウンドバーを操作するための制御信号を伝送できます。

1 **テレビとサウンドバーを接続する。**

テレビのオーディオリターンチャンネル対応HDMI入力端子(「eARC」や「ARC」などの表示のある端子)に接続してください。



2 サウンドバーを電源に接続する。



お知らせ

- eARCとは、Enhanced Audio Return Channel(エンハンスド・オーディオ・リターン・チャンネル)の略称です。ARCの機能を拡張したもので、ARCでは伝送できない音声信号もテレビ経由で伝送できます。
- サウンドバーのHDMIコントロール機能の初期設定は「オン」になっています。HDMIコントロール機能を使用しない場合は「オフ」にしてください。
- AV機器(メディアストリーミング端末など)はテレビに接続してください。

関連リンク

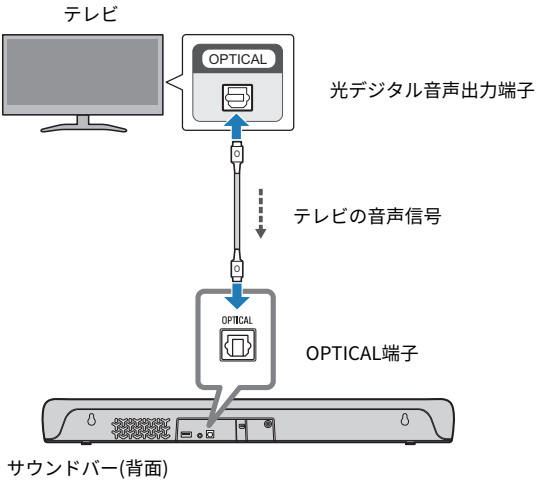
「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」(46ページ)

ARC非対応のテレビと接続する

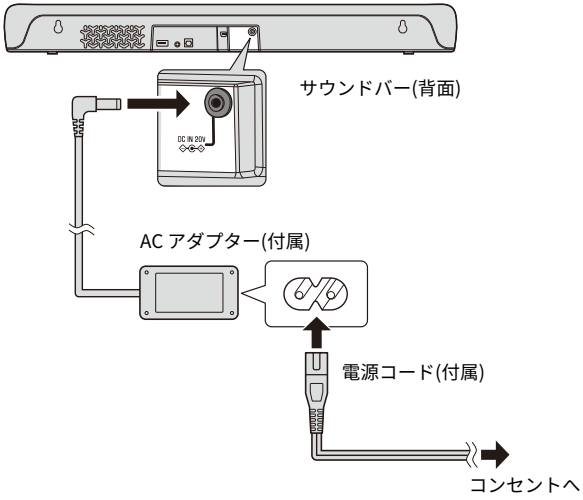
光デジタルケーブル(市販品)を使って、テレビに接続します。
光デジタルケーブルは、テレビの音声信号をサウンドバーに伝送します。

1　テレビとサウンドバーを接続する。

テレビの光デジタル音声出力端子に接続してください。



2　サウンドバーを電源に接続する。



お知らせ

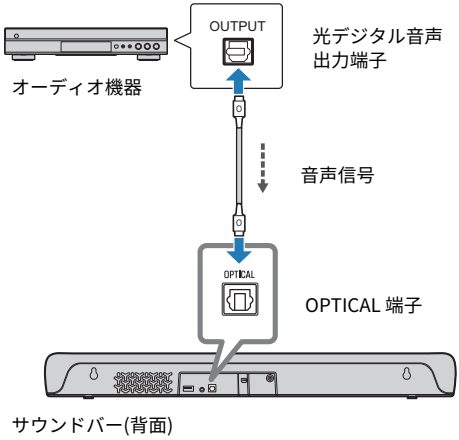
- テレビの音声を出力するには、次のように入力を設定してください。
  ・サウンドバーの入力：OPTICAL
- 光デジタルケーブルでテレビと接続した場合は、HDMIコントロールを利用できません。
- 光デジタルケーブルでテレビと接続した場合は、Dolby Atmosの音声を再生できません。

オーディオ機器と電源に接続する

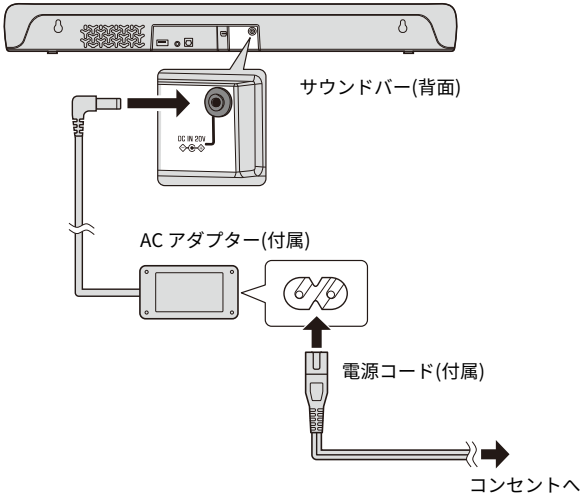
■ 光デジタル音声出力端子がある機器

光デジタル音声出力端子があるオーディオ機器を、光デジタルケーブル(市販品)を使ってサウンドバーに直接接続できます。

1 サウンドバーとオーディオ機器を接続する。



2 サウンドバーを電源に接続する。



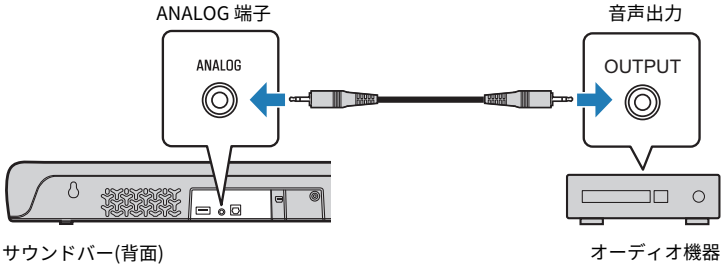
お知らせ

- 映像出力がある機器を接続する場合は、映像出力端子をテレビの映像入力端子に直接接続してください。
- テレビ以外の機器とは、HDMIケーブルでの接続はできません。

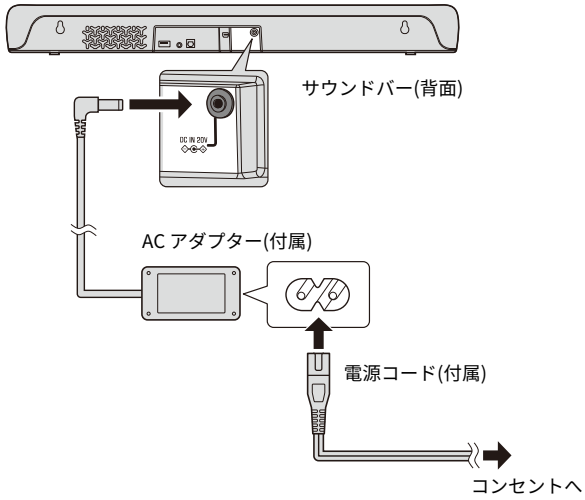
■ アナログ音声出力端子がある機器

3.5 mmステレオミニプラグケーブル(市販品)を使って、オーディオ機器を接続します。

1 サウンドバーとオーディオ機器を接続する。



2 サウンドバーを電源に接続する。



注意

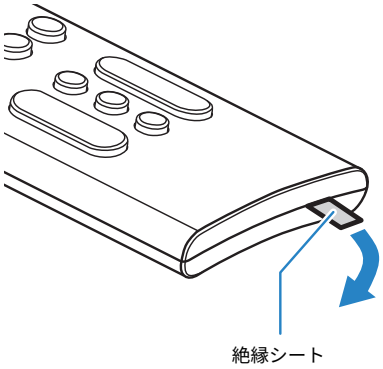
- アナログ接続した機器側で音量調節ができる場合は、テレビと同程度の音量になるように調節してください。

お知らせ

映像出力がある機器を接続する場合は、映像出力端子をテレビの映像入力端子に直接接続してください。

リモコンを準備する

電池の絶縁シートを引き抜いてから、リモコンを使用してください。



関連リンク

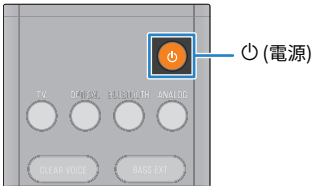
「リモコンの電池を交換したい」(72ページ)

電源をオンにする

サウンドバーの電源をオン/オフ(スタンバイ)します。

1 **⏻ボタンを押す。**

ボタンを押すたびにサウンドバーの電源をオン/オフできます。



電源をオンにすると、いったんすべてのランプが点灯したあと、設定状態に応じてランプが点灯します。

例：通常表示



電源をオフにすると、ランプが消灯します。

ご注意

- この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。サウンドバーの電源ボタンで本製品の電源をオフ(スタンバイ)状態にしても微電流が流れています。

お知らせ

サウンドバーの電源ボタンでも同様に操作できます。

再生

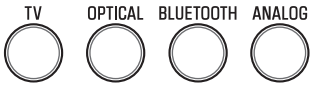
再生時の基本操作

再生する場合の基本的な操作方法を説明します。

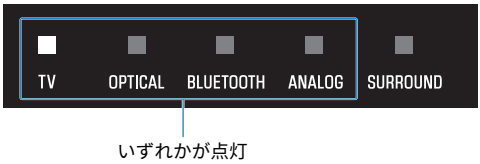
■ 入力音声の選択

次の入力ボタンを押します。

- TVボタン：HDMI OUT/TV(eARC/ARC)端子に接続したテレビの音声
- OPTICALボタン：OPTICAL端子に接続した機器の音声
- BLUETOOTHボタン：Bluetooth機器の音声
- ANALOGボタン：アナログ端子に接続した機器の音声



選択した入力のランプが点灯します。

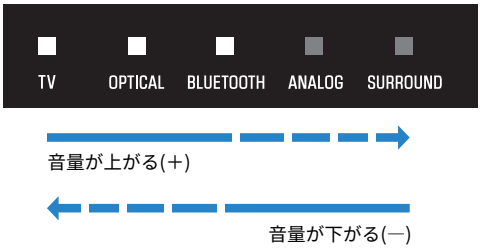


■ 音量の調節

VOLUME(＋/－)ボタンを押して、音量を調節します。



音量に応じて点灯するランプの数が増減します。

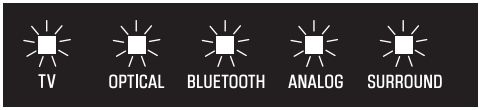


テレビのスピーカーとサウンドバーの両方から音声が出力されている場合は、テレビを消音してください。

一時的にサウンドバーを消音するには、🔇ボタンを押します。消音を解除するには、再度🔇ボタンを押すか、VOLUME(＋/－)ボタンを押してください。



消音中は以下のように表示されます。



点滅

お知らせ

サウンドバーの操作部でも同様に操作できます。

- (入力切換)：再生する機器を選びます。
- / (音量＋/－)：音量を調節します。

関連リンク

- 「サラウンドで再生する」(32ページ)
- 「ステレオで再生する」(33ページ)
- 「人の声を大きくして再生する(クリアボイス)」(35ページ)
- 「豊かな低音を楽しむ(バスエクステンション)」(36ページ)
- 「Bluetooth®機器の音楽を聴く」(38ページ)

お好みの音に調整する

本製品のサラウンド機能について

本製品はサラウンド再生用のサウンドモードとステレオ再生用のサウンドモードを搭載しています。また、各種のサウンド設定で、さらにお好みのサウンドに近づけることができます。

■ サウンドモード

ステレオ再生のサウンドモード(STEREO)とサラウンドを再現するサウンドモード(STANDARD、MOVIE、GAME)から選べます。

STEREO

音楽の再生に適したステレオ再生用のサウンドモードです。

STANDARD

人の声が強調され、聞き取りやすくなります。ニュースや会話の多いコンテンツに適しています。

MOVIE

声の強調に加え、低音の迫力や豊かな残響を楽しめます。映画やドラマに適しています。

GAME

音の輪郭がはっきりし、方向がつかみやすくなります。FPSやアクションゲームに適しています。

■ サウンド設定

サウンド設定を使用して、お好みのサウンドに近づけることができます。

クリアボイス

会話などの人の声を聴きやすくします。小音量で映画やドラマを楽しむときや、BGMや効果音が多く使われた映画やドラマなどにおすすめです。

バスエクステンション

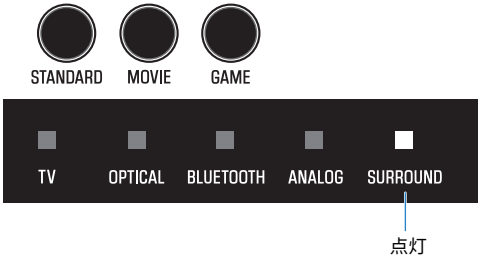
低音を増強し、豊かな響きを楽しめます。全体のバランスを崩すことなく、存在感のある低音を表現します。

関連リンク

- 「サラウンドで再生する」(32ページ)
- 「ステレオで再生する」(33ページ)
- 「人の声を大きくして再生する(クリアボイス)」(35ページ)
- 「豊かな低音を楽しむ(バスエクステンション)」(36ページ)

サラウンドで再生する

STANDARD/MOVIE/GAMEの各ボタンを押して、サラウンド再生に切り替えます。視聴する映像や音楽に合わせて、お好みのサウンドモードを選択してください。



お知らせ

- サラウンドの種類は本製品前面のSURROUNDランプで確認できます。
  - ・点灯(緑)：Dolby Atmosの音声をサラウンド再生中
  - ・点灯(白)：Dolby Atmos以外の音声をサラウンド再生中
- 立体感のあるサラウンド音場を実現するため、本製品は次の技術を使用しています。
  - ・Dolby Atmos：オブジェクトベースのサラウンド技術です。従来のチャンネルにとらわれず、コンテンツの音声を多数のオブジェクト(音声の情報と音の位置の動きに関する情報の組み合わせ)の集合として制御します。従来より精密な音の制御が可能になったことで、本製品の特性を活かしてコンテンツ制作者の意図に沿った音場を再現しています。

関連リンク

「本製品のサラウンド機能について」(30ページ)

■ MOVIEのサウンド特性を切り替える

サウンドモードをMOVIEにしたときのサウンド特性の一部を変更できます。

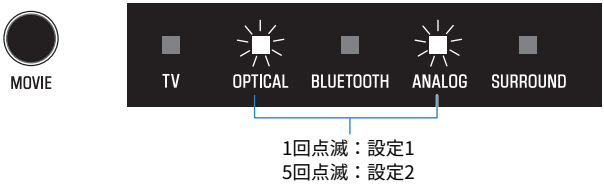
リモコンのMOVIEボタンを5秒以上押し続けると、設定1と2が切り替わります。

設定1：ヤマハが設計した理想的なサウンド特性です。

設定2：ドルビーが推奨するサウンド特性です。

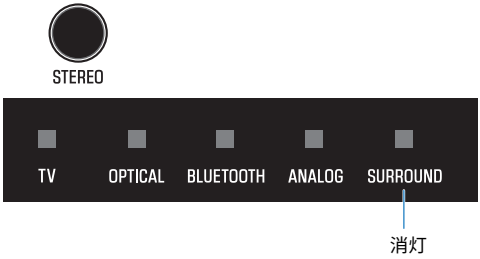
初期設定は、「設定1」です。

設定を切り替えると、本製品前面のランプで次のように表示します。



ステレオで再生する

STEREOボタンを押して、ステレオ再生(2chステレオ)に切り替えます。



関連リンク

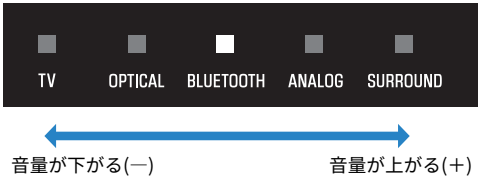
「本製品のサラウンド機能について」(30ページ)

サブウーファーの音量を調節する

サブウーファーの音量だけを調節します。
SUBWOOFER(＋/－)ボタンで調節します。



音量に応じて点灯するランプが変わります。

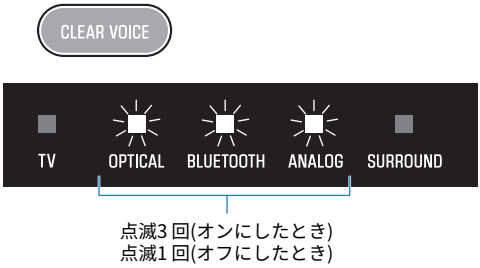


人の声を大きくして再生する(クリアボイス)

クリアボイスをオンにすると、音量を上げなくても会話などの人の声が聴きやすくなります。小音量で映画やドラマを楽しむときや、BGMや効果音が多く使われた映画やドラマなどにおすすめします。

CLEAR VOICEボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。

初期設定は「オフ」です。



関連リンク

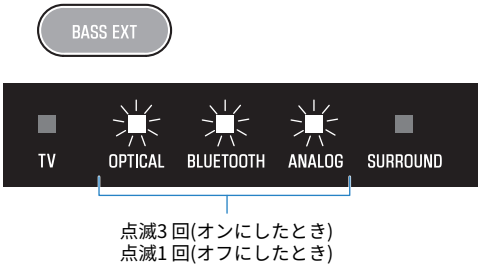
「サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する」(43ページ)

豊かな低音を楽しむ(バスエクステンション)

バスエクステンションをオンにすると、低音部の音像が増強されます。サブウーファーの音量はそのままで、低音部の音像全体が明確になるように調整されます。そのため、全体のサウンドのバランスを崩すことなく、低音部の音像の存在感を際立たせることができます。サブウーファーの音量を抑えつつ低音を増強したいときや、低音楽器の響きを強調したいときにおすすめします。

BASS EXTボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。

初期設定は「オフ」です。



関連リンク

「サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する」(43ページ)

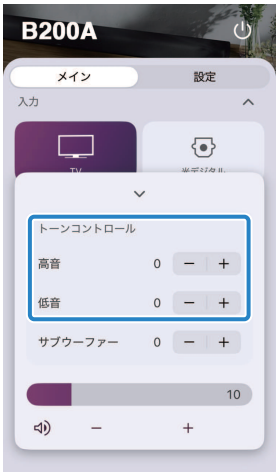
音域ごとに音量を調節する(トーンコントロール)

トーンコントロールを使うと、高音域、低音域の音量をそれぞれお好みのバランスで調節できます。

この機能はスマートフォンアプリ「Sound Bar Remote」でのみ操作できます。

高音、低音それぞれ−6から＋6まで調節できます。

初期設定は「0」です。

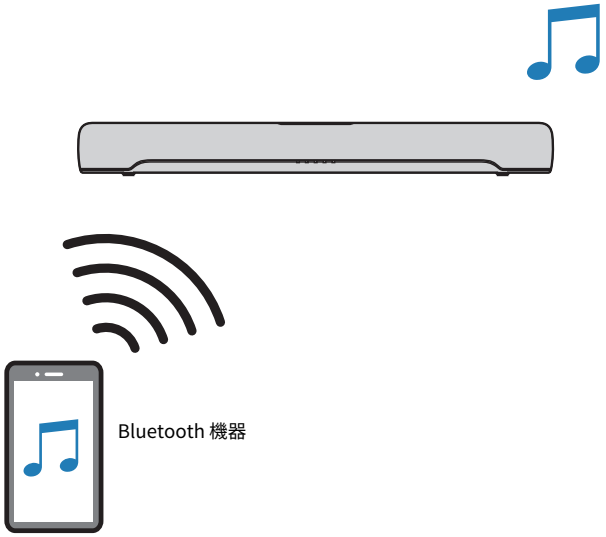


関連リンク

「スマートフォンアプリで操作する(Sound Bar Remote)」(42ページ)

Bluetooth®機器の音楽を聴く

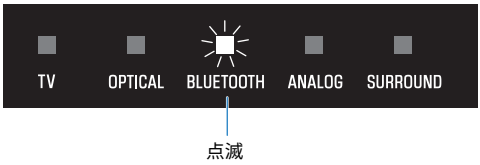
Bluetooth機器の音声をサウンドバーで再生します。



1　BLUETOOTHボタンを押して、サウンドバーの入力をBluetoothに切り替える。

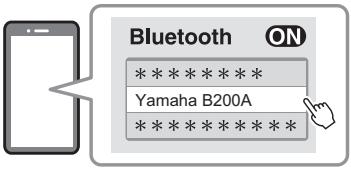


接続待ちの状態になり、BLUETOOTHランプが点滅します。



2　Bluetooth機器のBluetooth機能をオンにする。

3 **Bluetooth機器で本製品を選ぶ。**



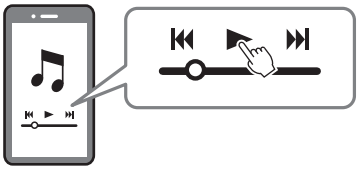
接続が完了すると、サウンドバーのBLUETOOTHランプが点滅から点灯(青)に変わります。



点灯(青)

4 **Bluetooth機器で再生を開始する。**

サウンドバーから音声が出ます。



お知らせ

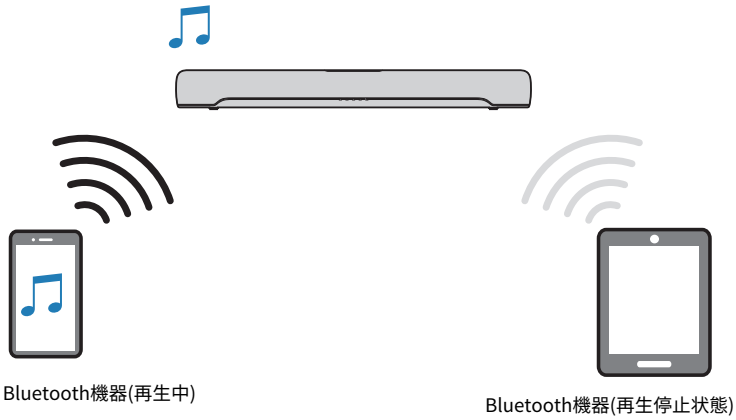
- Bluetoothスタンバイ機能により、Bluetooth機器で接続操作したとき、自動的にサウンドバーの電源が入ります。
- 他のBluetooth機器を接続したことがある場合、入力をBluetoothに切り替えると最後に接続した機器に接続します。
- Bluetooth 接続中に次のいずれかの操作を行うと、Bluetooth 接続が切断されます。
  - ・Bluetooth 機器でBluetooth 機能をオフにする。
  - ・サウンドバーのリモコンのBLUETOOTHボタンを5秒以上押す。
  - ・サウンドバーでBluetooth 以外の入力を選択する。
  - ・サウンドバーの電源をオフにする。
- 必要に応じて、Bluetooth 機器側の音量を調整してください。
- Bluetooth 機器は、サウンドバーから10 mの範囲内で操作してください。
- すべてのBluetooth機器に対して、Bluetooth接続および本ガイド記載の機能・性能を保証するものではありません。

関連リンク

「Bluetoothスタンバイ機能のオン/オフを切り替える」(49ページ)

■ 再生するBluetooth機器を簡単に切り替える(マルチポイント接続)

本製品は2台のBluetooth機器を同時に接続できます。再生するBluetooth機器を簡単に切り替えられます。



再生機器を切り替える手順は次のとおりです。

1 **Bluetooth機器の再生を停止する。**

2 **もう1台のBluetooth機器で再生を開始する。**
もう1台のBluetooth機器の音声がサウンドバーから出ます。

お知らせ

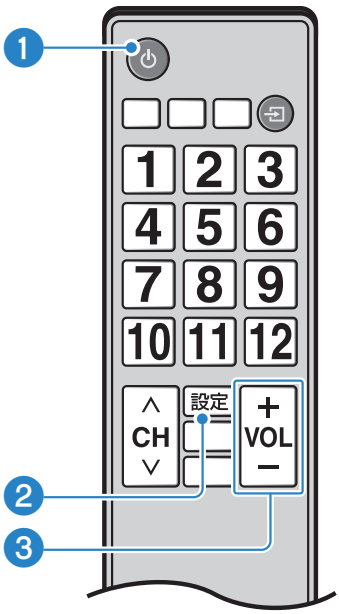
新しいBluetooth機器を接続するときは、接続中のBluetooth機器との接続を切断してから、接続してください。

テレビと連携

テレビのリモコンで操作する(HDMIコントロール機能)

HDMIケーブルでサウンドバーとテレビを接続すると、テレビのリモコンでサウンドバーを操作できます。これをHDMIコントロール機能と呼びます。

テレビのリモコン(例)



❶ **電源のオン/オフ**

テレビとサウンドバーの電源が連動します。

❷ **音声を出力する機器の切り替え**

音声の出力先をテレビとサウンドバーで切り替えます。操作方法はテレビによって異なります。

❸ **音量の調節**

テレビの音声の出力先がサウンドバーに設定されている場合は、サウンドバーの音量を調節できます。

関連リンク

「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」(46ページ)

アプリで操作

スマートフォンアプリで操作する(Sound Bar Remote)

専用の無料アプリ「Sound Bar Remote」をスマートフォンにインストールすると、スマートフォンからもサウンドバーを操作できます。

App StoreまたはGoogle Playで「Sound Bar Remote」を検索して、インストールしてください。



スマートフォンにアプリをインストールした後、Bluetoothでサウンドバーに接続し、アプリを起動してください。

次のようなわかりやすい画面で、サウンドバーの設定状態を確認しながら操作できます。



アプリの詳細については、App StoreまたはGoogle Playのアプリ説明をご覧ください。

お知らせ

- 本製品は、Sound Bar Remoteのみ対応しています。その他のアプリ(Sound Bar Controllerなど)では操作できません。
- アプリでサウンドバーを操作するには、スマートフォンを次のように設定してください。
  ・Bluetooth機能をオンにする
  ・Android機器の場合は、位置情報を取得できるように設定する
- Sound Bar Remoteはサウンドバーを検出するためだけにAndroid機器の位置情報を使用します。お客様の個人情報は一切取得しません。

設定変更と初期化

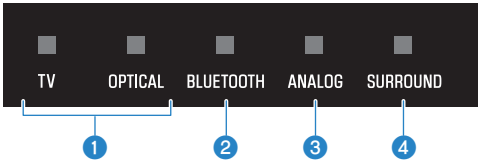
サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する

再生中の音声信号の種類やサウンドバーの設定を確認できます。

1 **INFOボタンを押す。**



INFOボタンを押してから3秒間、設定や音声信号の情報がサウンドバーのランプで次のように表示されます。



❶ **音声信号の種類**

TV 点灯(赤)：Dolby Atmos
TV 点灯(白)：Dolby Audio(Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD)
OPTICAL 点灯(白)：AAC
TV、OPTICAL 消灯：PCMまたは入力信号なし

❷ **サラウンド再生のオン/オフ**

点灯(白)：オン
消灯：オフ

❸ **バスエクステンション機能のオン/オフ**

点灯：オン
消灯：オフ

❹ **クリアボイス機能のオン/オフ**

点灯：オン
消灯：オフ

ランプの明るさを変更する(ディマー)

サウンドバーのランプの明るさを「明るい」、「暗い」、「消灯」の3段階で切り替えます。

初期設定は「暗い」です。

1 **サウンドバーの電源をオンにする。**

2 **DIMボタンを押す。**



ボタンを押すたびに、「消灯」、「明るい」、「暗い」の順に明るさが切り替わります。

お知らせ

操作直後は明るくなり、数秒間経過すると設定した明るさになります。

二ヶ国語放送の音声を切り替える

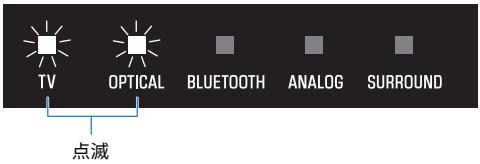
BS/地上デジタル放送のモノラル音声多重信号入力時に、再生する音声を選べます。

1　INFOボタンを5秒以上押す。

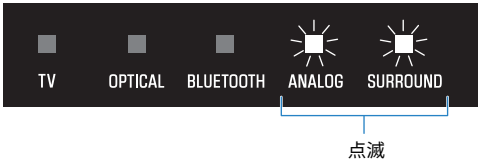


ボタンを押すたびに、再生する音声が次の順で切り替わります。設定に応じて、サウンドバーのランプが次のように点滅します。

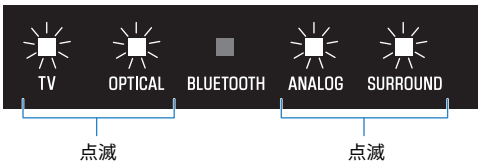
・主音声



・副音声



・主音声＋副音声



お知らせ

次の場合は、音声の切替えができません。

・副音声が収録されていない
・ステレオ音声多重信号が入力されている
・MPEG-2 AAC以外の音声信号が入力されている

HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える

HDMIコントロール機能をオンにすると、テレビのリモコンでサウンドバーを操作できます。

初期設定は「オン」です。

お知らせ

HDMIコントロール機能をオンにすると、オフのときより待機時消費電力が増加します。

1 **サウンドバーの電源をオフにする。**

2 **TVボタンを5秒以上押す。**



HDMIコントロール機能のオン/オフが変更されます。
設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯(オンにしたとき)
消灯(オフにしたとき)

お知らせ

オーディオリターンチャンネル(ARC)を使う場合は、HDMIコントロール機能をオンにしてください。

関連リンク

- 「ARC対応テレビと接続する」(19ページ)
- 「テレビのリモコンでサウンドバーを操作できない」(60ページ)

自動スタンバイ機能のオン/オフを切り替える

自動スタンバイ機能がオンに設定されている場合は、音声入力および操作がない状態で20分経過すると電源がオフになります。

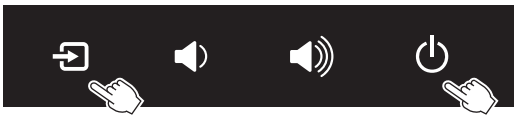
初期設定は「オフ」です。

お知らせ

自動スタンバイ機能をオフにすると、オンのときより待機時消費電力が増加します。

1 **サウンドバーの電源をオフにする。**

2 **サウンドバーの⏎を押したまま⏻を5秒以上押す。**



自動スタンバイ機能のオン/オフが変更されます。
設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える

操作部をロックして、誤操作を防止します(チャイルドロック機能)。
初期設定は「オフ(ロック解除)」です。

1 **サウンドバーの電源をオフにする。**

2 **INFOボタンを5秒以上押す。**



チャイルドロック機能のオン/オフが変更されます。
設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯(オン(ロック)にしたとき)
消灯(オフ(ロック解除)にしたとき)

Bluetoothスタンバイ機能のオン/オフを切り替える

Bluetoothスタンバイをオンにすると、Bluetooth機器からサウンドバーに接続したとき、自動的にサウンドバーの電源がオンになります。

初期設定は「オン」です。

お知らせ

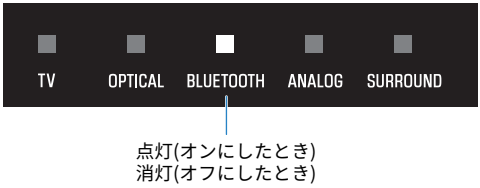
Bluetoothスタンバイ機能をオンにすると、オフのときより待機時消費電力が増加します。

1 **サウンドバーの電源をオフにする。**

2 **BLUETOOTHボタンを5秒以上押す。**



Bluetoothスタンバイ機能のオン/オフが変更されます。
設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



Bluetooth機能のオン/オフを切り替える

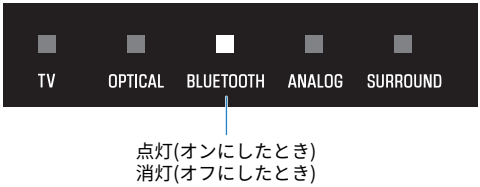
Bluetooth機能をオフにできます。
初期設定は「オン」です。

1 **サウンドバーの電源をオフにする。**

2 **DIMボタンを5秒以上押す。**



Bluetooth機能のオン/オフが変更されます。
設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。

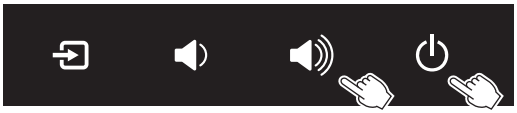


設定を初期化する

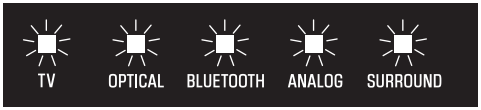
サウンドバーの設定をすべて初期化します。

1 **サウンドバーの電源をオフにする。**

2 **すべてのランプが点滅するまで、サウンドバーの🔊を押したまま⏻を押す。**



初期化が行われ、完了すると次のように表示されます。



点滅(初期化完了)

よくあるご質問

困ったときに最初に確認すること

ご使用中にサウンドバーが正常に動作しなくなった場合は、最初に次の点を確認してください。

- すべての機器の電源プラグがACコンセントにしっかりと接続されている。
- サウンドバー、テレビ、AV機器の電源がオンになっている。
- 各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されている。

電源と動作全般について

電源が突然オフになる

● 自動スタンバイ機能により電源がオフになった。

自動スタンバイ機能がオンに設定されている場合は、音声入力および操作がない状態で20分経過すると自動的に電源がオフになります。

もう一度電源をオンにしてください。自動スタンバイ機能はオフにすることもできます。

・「自動スタンバイ機能のオン/オフを切り替える」(47ページ)

● 保護回路が作動した(サウンドバーのTVランプが赤で点滅している)。

接続が正しいことを確認したあとで、もう一度電源をオンにしてください。たびたび電源がオフになる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

電源がオンにならない

● **電源をオンにしても、TVランプが赤く点滅してオンにならないことが3回続けてあった(保護回路が3回続けて作動した)。**

製品保護のため、電源がオンにならなくなります。電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

サウンドバーの操作部で操作ができない

● サウンドバーの操作部を操作しても反応がない。

操作部がロックされている可能性があります。操作部のロックを解除してください。

・「チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える」(48ページ)

電源がオンのときにランプがすべて消灯している(電源オフのように見える)

● ランプの明るさが「消灯」になっている。

お好みの明るさを選択してください。

・「ランプの明るさを変更する(ディマー)」(44ページ)

サウンドバーが正常に動作しない

● **外部電気ショック(落雷、過度の静電気など)や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。**

・電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上経過してから接続し直してください。

操作をしていないのにサウンドバーの電源がオンになる

● 近くで、別のBluetooth機器が使用されている。

Bluetooth接続を切断してください。

・「Bluetooth®機器の音楽を聴く」(38ページ)

リモコンでサウンドバーを操作できない

● 操作範囲から外れている。

リモコンの操作範囲内で操作してください。

・「リモコンの各部名称」(13ページ)

● 電池が消耗している。

新しい電池に交換してください。

・「リモコンの電池を交換したい」(72ページ)

● サウンドバーのリモコン受光部に日光や強い照明が当たっている。

照明、またはサウンドバーの向きを変えてください。

テレビのリモコンでサウンドバーを操作できない

● HDMIコントロール機能が正しく設定されていない。

次のように設定されているか、確認してください。

・サウンドバーのHDMIコントロール機能がオンになっている

・テレビのHDMIコントロール機能がオンになっている

・テレビのHDMIに関する設定で、音声出力先がテレビの内蔵スピーカー以外に設定されている

それでもテレビのリモコンで操作できない場合は、次を実行してください。

・サウンドバーおよびテレビの電源を一度オフにしてからオンにする

・サウンドバーおよびHDMI接続している機器の電源プラグをコンセントからはずし、30秒ほど経ってから、接続し直す

関連リンク

「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」(46ページ)

● テレビがサウンドバーの操作に対応していない。

HDMIコントロール機能に対応しているテレビでも、一部の機能が操作できないことがあります。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

音声再生について

音が出ない

● 再生したい入力が選ばれていない。

正しい入力を選んでください。

・「再生時の基本操作」(28ページ)

● 消音されている。

消音を解除してください。

・「再生時の基本操作」(28ページ)

● 音量が小さい。

音量を上げてください。

・「再生時の基本操作」(28ページ)

● サウンドバーの電源コードがしっかり接続されていない。

サウンドバーの電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。

● サウンドバーで再生できない信号が入力されている。

テレビまたはAV機器側のデジタル音声出力を、本製品が対応している音声信号に設定してください。

・「対応しているデジタル音声信号フォーマット」(76ページ)

● HDMIコントロール機能がオフに設定されている。

ARC(オーディオリターンチャンネル)対応のテレビとサウンドバーをHDMIケーブルで接続している場合は、HDMIコントロール機能をオンに設定してください。

HDMIコントロール機能をオフにしたままサウンドバーで音声を再生するには、サウンドバーのOPTICAL(光デジタル)入力端子とテレビの音声出力端子を光デジタルケーブルで接続し、サウンドバーの入力音声でOPTICALを選択してください。

・「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」(46ページ)

・「ARC対応テレビと接続する」(19ページ)

・「再生時の基本操作」(28ページ)

● HDMIコントロール機能を使用しているテレビの音声出力先が、テレビの内蔵スピーカーになっている。

テレビのHDMIに関する設定で、音声出力先をテレビの内蔵スピーカー以外に切り替えてください。

サブウーファーから音が出ない

● 再生している音声にサブウーファーチャンネルの信号や低音信号が含まれていない。

サブウーファーチャンネルの信号が含まれているソフトを再生して、サブウーファーから音が出ることを確認ください。

● サブウーファーの音量が小さい。

サブウーファーの音量を上げてください。

・「サブウーファーの音量を調節する」(34ページ)

電源をオンにし直すと音量が下がる

● 音量自動調節機能により音量が下がった。

本製品は、突然大音量が出力されるのを防ぐため、音量自動調節機能を搭載しています。音量が大きい状態で電源をオフにした場合、次回電源がオンになったときは自動的に安全な音量に設定されます。必要に応じて、音量を上げてください。

・「再生時の基本操作」(28ページ)

サラウンド感が得られない

● ステレオ再生にしている。

サラウンド再生に切り替えてください。

・「サラウンドで再生する」(32ページ)

● 音量が小さい。

音量を上げてください。

・「再生時の基本操作」(28ページ)

● テレビ、またはAV機器が常に2チャンネル(PCMなど)で出力するように設定されている。

テレビまたはAV機器の設定を、ビットストリーム音声信号が出力されるように変更してください。

● テレビのスピーカーからも音が出ている。

テレビの音量を最小にしてください。

● 視聴位置がサウンドバーに極端に近過ぎる。

ある程度、離れた位置で視聴してください。

雑音が入る

● **デジタル機器や高周波機器がサウンドバーの近くに置かれている。**
サウンドバーとそれらの機器を離して設置してください。

Bluetooth接続について

Bluetooth機器と接続できない

● サウンドバーの入力がBluetooth以外になっている。

入力をBluetoothにしてください。

・「Bluetooth®機器の音楽を聴く」(38ページ)

● サウンドバーとBluetooth機器の距離が離れすぎている。

サウンドバーとBluetooth機器を近づけてください。

● 電磁波を発する機器(電子レンジ、無線機器など)がそばにある。

電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

● お使いのBluetooth機器がA2DPプロファイルに対応していない。

A2DPプロファイル対応のBluetooth機器をお使いください。

● Bluetooth機器に登録されている接続情報が正しく機能していない。

Bluetooth機器の接続情報を削除してから、サウンドバーとBluetooth機器を接続してください。

● Bluetoothアダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。

パスキーが「0000」の機器をお使いください。

● サウンドバーと別のBluetooth機器が接続している(初めて接続するBluetooth機器の場合)。

Bluetooth機器の接続を切断してから、新しいBluetooth機器を接続してください。

● すでに2台のBluetooth機器が接続している(一度本製品と接続したことがあるBluetooth機器の場合)

接続中のBluetooth機器のうちどちらかの接続を切断してから、別のBluetooth機器を接続してください。

● サウンドバーのBluetooth機能がオフになっている

Bluetooth機能をオンにしてください。

・「Bluetooth機能のオン/オフを切り替える」(50ページ)

Bluetooth接続時に音が出ない、または音が途切れる

● Bluetooth機器の音量が小さすぎる。

Bluetooth機器の音量を上げてください。

● サウンドバーの入力がBluetooth以外になっている。

入力をBluetoothにしてください。

・「Bluetooth®機器の音楽を聴く」(38ページ)

● Bluetooth機器を再生していない。

Bluetooth機器を再生してください。

● Bluetooth機器の音声出力先が本製品になっていない。

Bluetooth機器を操作し、音声出力先として本製品を選択してください。

● Bluetooth接続が切断された。

再度Bluetooth接続を行ってください。

● サウンドバーとBluetooth機器の距離が離れすぎている。

Bluetooth機器をサウンドバーの近くに移動してください。

● 電磁波を発する機器(電子レンジ、無線機器など)がそばにある。

電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

● 別のBluetooth機器が再生している。

再生を停止して、もう1台のBluetooth機器で再生してください。

アプリ使用について

アプリでサウンドバーを検出できない

● 本製品非対応のアプリを使用している。

本製品はSound Bar Remoteのみ対応しています。Sound Bar Controller、Home Theater ControllerおよびMusicCast Controllerは使用できません。

● スマートフォンのBluetooth機能がオフになっている。

スマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。

● Android機器の位置情報を取得する機能がオフになっている。

Sound Bar Remoteを検出するため、Android機器で位置情報を取得できるように設定してください。

アプリでサウンドバーに接続できない

● 接続に必要な操作をしていない。

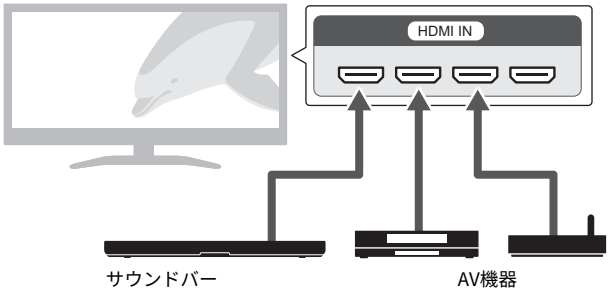
本製品とSound Bar Remoteを接続するには、アプリで本製品を検出したあと、認証操作が必要です。アプリの表示にしたがって操作をして、認証を完了させてください。

この操作は、初めてSound Bar Remoteと接続するとき、または他のSound Bar Remote対応製品と接続したあとに必要な操作です。

その他のよくあるご質問

ブルーレイディスクプレーヤーなどのAV機器を接続したい

ブルーレイディスクプレーヤーやメディアストリーミング端末などのAV機器は、テレビのHDMI入力端子に接続してください。



テレビやAV機器の音声を出力する場合は、次のように入力を設定してください。

- サウンドバーの入力：TV
- テレビの入力切換：再生するAV機器

待機時消費電力を最小にしたい

次のように設定を変更してください。

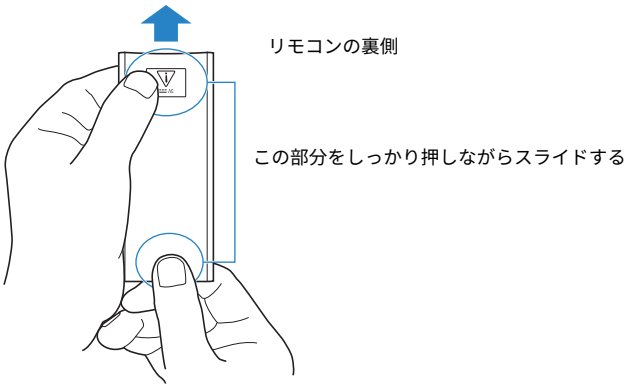
- HDMIコントロール：「オフ」
- Bluetoothスタンバイ：「オフ」

関連リンク

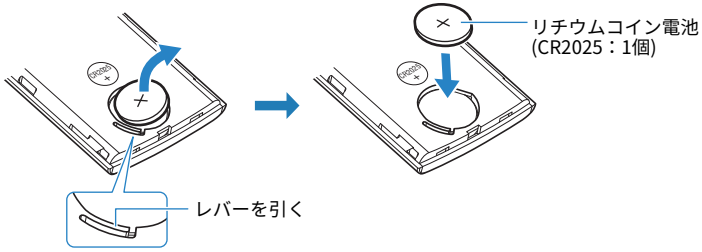
- 「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」(46ページ)
- 「Bluetoothスタンバイ機能のオン/オフを切り替える」(49ページ)

リモコンの電池を交換したい

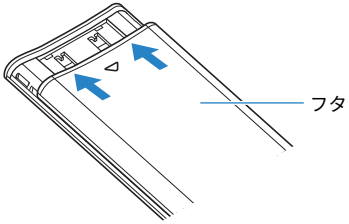
1 **フタを矢印の方向にスライドして外す。**



2 **古い電池を取り出して新しい電池を入れる。**



3 **フタをかぶせて、矢印の方向にスライドして戻す。**



サウンドバーをリセットしたい

次のような操作で、サウンドバーをリセットします。

■ 再起動させたい場合

電源プラグをコンセントから抜いた後、10秒以上経過してからもう一度接続して、電源をオンにしてください。

■ 設定を初期化したい場合

次の説明を参照して、設定を初期化してください。

「設定を初期化する」(51ページ)

仕様とサポート

主な仕様

本サウンドバーの主な仕様は次のとおりです。

アンプ部

実用最大出力(非同時駆動、JEITA)	
• フロントL/R	20 W×2 ch
• サブウーファー	30 W

スピーカー部

フロントL/R	
• 形式	密閉型(非防磁)
• スピーカーユニット	4.6 cm コーン ×2
• 再生周波数帯域	210 Hz ～ 22 kHz
• インピーダンス	6Ω
サブウーファー	
• 形式	パッシブラジエーター型(非防磁)
• スピーカーユニット	7.5 cm コーン ×1
• 再生周波数帯域	60 Hz ～ 210 Hz
• インピーダンス	4Ω

入力端子

光デジタル	1(OPTICAL)
アナログ(3.5 mm ステレオミニ)	1(ANALOG)

出力端子

HDMI	1(HDMI OUT/TV(eARC/ARC))

その他の端子

USB	1(UPDATE ONLY)

Bluetooth

受信動作	他機器からの受信機能
Bluetoothバージョン	Ver 5.3
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	受信：SBC、MPEG4-AAC
Bluetoothクラス	Bluetooth Class 1
見通し通信距離	約10 m
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式(受信時)

総合

電源電圧	AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz
消費電力	13 W(定格)
待機消費電力	
• HDMIコントロール、Bluetoothスタンバイ：オフ	0.3 W
• HDMIコントロール、Bluetoothスタンバイ：オン	0.4 W
寸法(幅 × 高さ × 奥行き)	
• テレビの前などに設置	600 x 64 x 94 mm
• 壁掛け設置、スペーサーあり	600 x 64 x 102 mm
質量	
• 本体	1.8 kg

お知らせ

この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

対応しているデジタル音声信号フォーマット

本製品が対応しているデジタル音声信号です。

■ HDMI OUT/TV(eARC/ARC)端子の入力信号

テレビのeARC、またはARC対応HDMI入力端子からサウンドバーのHDMI OUT/TV(eARC/ARC)端子に入力したデジタル音声信号のうち、本製品で再生できるデジタル音声信号は次のとおりです。

テレビのeARC対応HDMI入力端子の場合

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2 ch、32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz、16 / 20 / 24 bit
マルチチャンネルPCM	7.1 chまで、32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz、16 / 20 / 24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital / Dolby TrueHD / Dolby Digital Plus / Dolby Atmos、MPEG-2 AAC

テレビのARC対応HDMI入力端子の場合

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2 ch、32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz、16 / 20 / 24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital / Dolby Digital Plus / Dolby Atmos、MPEG-2 AAC

■ OPTICAL端子の音声入力信号

テレビまたはAV機器の光デジタル出力端子からサウンドバーのOPTICAL端子に入力したデジタル音声信号のうち、本製品で再生できるデジタル音声信号は次のとおりです。

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2 ch、32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz、16 / 20 / 24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital、MPEG-2 AAC

お知らせ

この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

主なランプ表示一覧

本製品の主なランプ表示は次のとおりです。

お知らせ

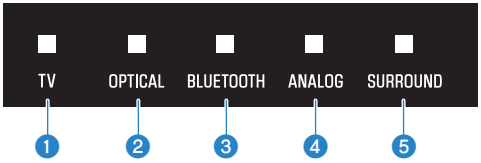
本ガイドでは、ランプの点灯状態を次のように表示します。



■ 電源オフ状態



■ 通常の再生状態



❶ **TV**

点灯：テレビの音声を再生中

❷ **OPTICAL**

点灯：OPTICAL入力端子の音声を再生中

❸ **BLUETOOTH**

点灯(青)：Bluetooth機器接続完了

点滅(白)：Bluetooth機器の接続待ち受け状態

❹ **ANALOG**

点灯：ANALOG入力端子の音声を再生中

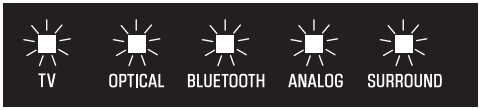
❺ **SURROUND**

点灯(白)：サラウンド再生

点灯(緑)：Dolby Atmosの音声をサラウンド再生中

消灯：ステレオ再生

■ 消音状態



■ 異常が発生した



点滅(赤)

お知らせ

- ランプの明るさを「消灯」に設定している場合、操作中のみランプが点灯します。
- 設定変更時の表示については、各設定の説明をご覧ください。

関連リンク

- 「再生時の基本操作」(28ページ)
- 「サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する」(43ページ)
- 「ランプの明るさを変更する(ディマー)」(44ページ)
- 「電源と動作全般について」(53ページ)

サポート窓口一覧

問題が解決しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。

日本国内のお客様

- お買い上げ店、または同梱の「セーフティーガイド」掲載の「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

日本以外の地域のお客様

- お近くのヤマハ正規ディーラーまたはサービスセンターまでお問い合わせください。
  https://manual.yamaha.com/av/support/

ソフトウェアと商標

サードパーティー製ソフトウェアプログラムについて

本製品は、次のサードパーティー製ソフトウェアプログラムを使用しています。

- CMSIS
- CMSIS Device (STM32C0xx)
- STM32C0xx HAL/LL
- Tiny printf
- FreeRTOS V10.4.3
- Apache License 2.0
- ECC

各ソフトウェアプログラムの著作権、使用許諾条件につきましては、次をご覧ください。

お知らせ

各プログラムの権利者の要請により、原文(英語)を掲載しています。

■ CMSIS

Copyright © 2009-2019 Arm Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ CMSIS Device (STM32C0xx)

Copyright © 2022 STMicroelectronics.

All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ STM32C0xx HAL/LL

Copyright © 2022 STMicroelectronics.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR

PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Tiny printf

The MIT License (MIT)

Copyright © 2014-2019 Marco Paland (info@paland.com), PALANDesign Hannover, Germany

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

FreeRTOS V10.4.3

FreeRTOS Kernel V10.4.3

Copyright © 2020 Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge,

publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

http://www.FreeRTOS.org
http://aws.amazon.com/freertos

Apache License 2.0

Apache-2.0
Copyright The Mbed TLS Contributors.

This component is licensed under the Apache License, Version 2.0.
You may use, modify and redistribute the software under the terms of the Apache License 2.0, provided that:

- A copy of the Apache License 2.0 is included with the distribution;
- Copyright and license notices are preserved;

https://github.com/Mbed-TLS/mbedtls

ECC

Copyright © 2013, Kenneth MacKay
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

商標



Dolby、Dolby Atmos、ドルビーおよびダブル D 記号はDolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。

本製品はドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。

非公開機密著作物。 著作権 2012–2025年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、 Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Yamaha Global Site
https://www.yamaha.com/

Yamaha Downloads
https://download.yamaha.com/

© 2026 Yamaha Corporation

2026 年9 月 発行 NV-A0

AV25-0058